



藍原 章 議員

高島市の観光ツーリズムの促進について

問 高島の観光素材を活かした、体験・交流・滞在型の新しいツーリズムの創出促進について問う

答 観光振興の指針となる観光ビジョンの策定を進め、その中で機会や強みなどを含め今後の観光振興の方向性などをしっかりと検討します

高島のゆとりある開放的な空間、アウトドアスポーツ、豊かな自然、神社仏閣の静謐な環境といった観光素材を活かした、体験・交流・滞在型の新しいツーリズムの創出推進ができるのではないかと考える。

問 2024、2025年に開催される大規模事業やイベントを活用した観光振興の推進について問う。

答 商工観光部長

市の魅力を伝える取り組みとして、誘致促進プロモーションの展開を予定しており、本市をPRしていく上で重要なキービジュアルを制作し、キヤッチ「ピ」や「ロ」など統一

した観光振興のイメージを前面に打ち出すことにより、行政や観光事業者が一体となつて戦略的かつ効果的な情報発信を進めます。

問 体験融合型の「教育旅行」の誘致について問う。

答 商工観光部長

教育旅行の誘致は積極的に取り組んできたところであり、本市の観光振興における重要な要素のひとつとして認識しています。また学習と体験は教育旅行には必要不可欠な要素となるため、しっかりと教育旅行の誘致につなげられるよう、今後においても、びわ湖高島観光協会や関係事業者

と連携を図りながら取り組みます。

問 歴史をテーマとした、滋賀・高島ならではの魅力発信について問う。

答 商工観光部長

本市には魅力的な観光素材として歴史文化、またそれらに因んだ史跡などが多数存在し、本市の観光誘客に繋がると認識しています。それぞれに観光資源としての評価や価値観の捉え方も多様なことから、ニーズに基づく評価も踏まえ、関係部局等との連携を図りながら、本市の有効な観光誘客に努めます。

問 観光物産を支える人材育成について問う。

答 商工観光部長

今年度は、観光事業者の育成とスキル向上を目的としたセミナーを開催しており、今後は観光DXを軸にしたセミナーを行っていくなど、課題解決に向けて観光事業者の育成に取り組みます。また、新たな人材確保の取り組みとして高島地域雇用創造協議会でICTスキル取得セミナーやおもてなしセミナーを開催し、観光事業者はもとより多くの方に学んでいただき、地域で働く方々の力の向上と、担い手の育成に取り組んでいます。令和4年度、5年度には観光振興の指針となる観光ビジョンの策定を進める中で今後の観光振興の方向性などをしっかりと検討します。

その他の質問

- 個別最適・協働的な学びと特定分野に特異な才能のある児童生徒の指導・支援について
- 発達性読み書き障がい（ディスレクシア）について